

WDC会長ドニー・バーンズ氏と各団体代表者との懇談会 懇談内容の抜粋

開催日時：平成28年（2016年）7月25日（月）午後8時30分より

場所：ザ・リッツカールトン東京 ドニー・バーンズ氏の部屋

出席者（敬称略）

WDC 会長 ドニー・バーンズ

NDC J 会長 中川勲、 副会長 鳥居瑤子・天野博文、 事務局長 今村成親

JBDF 会長 稲川素子、 副会長 内田芳昭、 専務理事 石原久嗣

JBDC 会長 桜本和夫、 JCF 会長 毛塚鉄雄、 JDC 会長 楠潤一郎

通訳 稲川御令嬢・エドワード木畑

オブザーバー 鳥居弘忠

平成28年（2016年）7月25日（月）午後8時30分より、ザ・リッツカールトン東京のドニー・バーンズ氏の部屋にて、WDC会長ドニー・バーンズ氏と各団体代表者による懇談会が開催された。

この懇談会は、JBDFが新体制となってから、JBDFはWDC路線にて運営し、WDCのNDC Jに加盟を希望する意思を示し、現在のままでは単独でJBDFがNDC Jに加盟する事が出来ないので、WDC会長に加入する方法をアドバイスして頂く為に開催された。

下記に懇談での内容を抜粋します。

記

- JBDF JBDFは、WDSFやJDSFと協力関係を結びません。
DSC Jとの契約を、双方の合意の下、白紙撤回する事を約束します。
又、その書類のコピーをWDCのNDC Jに提出します。
- NDC J JBDFは、JDSFやPD部門の役職にある方が、JBDFの評議員等の役職にある事を改善する等、まず、きちんと状況を整える必要がある。
- JBDF JBDFは、WDCの定款を遵守し、WDCのポリシーに賛同し、WDC路線で運営して行きます。
- JBDF JBDFは、WDCのNDC Jに加盟を希望しています。
但し、各総局への説明や、手続きの為、本体としての加盟には、時間が欲しい。
まずは、競技会開催の部署である国際部の加盟を希望しています。
- 全員 近い将来にJBDF本体が加盟する為には、段階として、まず加盟する為の条件をクリアにし、JBDCと双方の合意の後であれば、問題無いと思います。
(ドニー氏含) 但し、デッドラインとして、1年～1年半以内での確約が欲しいです。
- JBDF 了解しました。

全員 J B D F が加盟する場合には、N D C J の加盟団体が 4 団体となり、理想的 (ドニー氏含) ではない。

J B D F J B D F としては、J B D C に良い形で J B D F に戻って来て欲しい。

J B D C J B D F は今まで J B D C の意見を未だ聞いていない状況で今日の懇談会を迎えた。

現在の状況を考え、J B D F が N D C J 加盟の条件を全て明確にするまでは、J B D C は今まで通り N D C J の加盟を維持する。

その後、J B D F と J B D C の双方にとって上手く良い形になる為に議論された。

しかし、話しは平行線をたどり、長時間の懇談の末、W D C 会長より提案がなされた。

ドニー氏 “J B D F 国際部 / J B D C” (J B D F / J B D C) として、1 団体での加盟としてはどうであろうか。

J B D F “J B D F 国際部 / J B D C” (J B D F / J B D C) として、1 団体での加盟を希望します。

J B D C まずは、十分な話し合いが必要であり、スラッシュの意味と国際部の位置を明確にし、きちんとした話し合いが出来、双方が納得の出来る形であれば、“J B D F インターナショナル / J B D C” (J B D F / J B D C) として、1 団体での加盟の方向で進めて行きたいと思います。

ドニー氏 2 団体以外の方は、この内容で、了承しますか？

N D C J 正副会長 全く問題ありません。了承します。

J D C 会長 全く問題ありません。了承します。

J C F 会長 全く問題ありません。了承します。

ドニー氏 それでは、J B D F は、先に N D C J に加盟している J B D C に、誠意をもって話し合いに臨み、J B D C が了承する (了解を得る) 形にしなければなりません。それが出来るまでは、J B D F は加盟団体にはなれません。

J B D F 了解しました。

N D C J 会長 N D C J の総会が 8 月末にあり、そこで切り替わるのがスムーズ、且つスマートですので、組織編制や人事等、早急に両団体にて話し合い決めて下さい。

J B D C ・ J B D F 了解しました。

ドニー氏 全員にお尋ねします。

何か問題や、疑問点、話したい事などありますか？

全員 問題や疑問点はありません。

ドニー氏は、出席者全員を個別に1人1人順次指名し、再度、尋ねました。

そして、出席者全員が問題や疑問点の無い事を再確認し、閉会した。